

3A 生物活用（選択） 休校中の課題

生物活用（選択）では、「馬を用いた動物介在活動のプログラムができる」ことを最終的な目標としています。そのため、以下の流れで授業を進行します。そこで休校中の課題として、下記に示した年間の学習の流れの「4 対象者の特徴」である「発達障がい、身体障がい、精神障がい」について各名称の特徴、具体的な行動例（発達障がいのみ）、対応方法を予習してもらいます。インターネットで調べ、ノート作成例とルーブリック（評価規準）を参考に生物活用のノートにまとめてください。

年間の学習の流れ

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) アニマルセラピーとは
名称や歴史、発展、他国との違いについて | 4) 対象者の特徴
発達障がい、身体障がい、精神障がい、子ども、高齢者、高齢者の疑似体験について |
| 2) 動物の選定
馬・犬の品種、その特徴、感情表現の判断について | 5) ホースセラピーの実践
インストラクター、リーダー、サイドウォーカー、実践と反省について |
| 3) 乗馬の知識
蹄の特徴、鞍の特徴について | 6) プログラムの作成と発表 |

ノート作成例

以下の各項目と名称を基準にしてノートにまとめます。各項目の内容は1つとは限らないため箇条書きでまとめてください。

発達障がい	
名称	自閉症スペクトラム症候群（ASD : Autism Spectrum Disorder）
特徴	
具体的な行動例	
対応方法	
名称	アスペルガー症候群
特徴	
具体的な行動例	
対応方法	
名称	ダウン症候群
特徴	
具体的な行動例	
対応方法	
名称	注意欠陥多動性障がい（ADHD : Attention-Deficit Hyperactivity Disorder）
特徴	
具体的な行動例	
対応方法	
名称	学習障がい（LD : Learning Disability）
特徴	
具体的な行動例	
対応方法	

身体障がい

名称	視覚障がい
特徴	
対応方法	
名称	聴覚障がい
特徴	
対応方法	
名称	平衡機能障がい
特徴	
対応方法	
名称	音声障がい
特徴	
対応方法	
名称	言語障がい
特徴	
対応方法	
名称	そしゃく機能障がい
特徴	
対応方法	
名称	肢体不自由
特徴	
対応方法	
名称	内部障がい
特徴	
対応方法	

精神障がい（精神疾患）

名称	うつ病
特徴	
対応方法	
名称	統合失調症
特徴	
対応方法	
名称	パーソナリティ障がい
特徴	
対応方法	
名称	心的外傷後ストレス障がい（PDSO : Post Traumatic Stress Disorder）
特徴	
対応方法	

ルーブリック（評価方法）

評価項目		得点基準	得点
発達障がい	①特徴 簡潔に症状の特徴が説明できる。	A（5点）…各項目に関連付けられた内容が書かれており、障がいの説明がわかりやすく、容易に想像ができる。	
	②具体的な行動例 年齢や症状のレベルによって具体的な行動例が説明できる。		
	③対応方法 具体的な行動例をもとに対応方法が説明できる。		
身体障がい	①特徴 簡潔に症状の特徴が説明できる。	B（3点）…各項目に関連付けられた内容が書かれている。	
	②対応方法 症状から具体的な対応方法が説明できる。また、身体障がい全体で共通した対応方法がわかる。		
精神障がい	①特徴 簡潔に症状の特徴を説明できる。	C（1点）…各項目の内容が不十分である。	
	②対応方法 症状から具体的な対応方法が説明できる。また、精神障がい全体で共通した対応方法がわかる。		
		【総合評価】 A：33点以上 B：14～32点 C：13点以下	